（１）果樹

＜ぶどう＞

・樹勢や労働配分等を考慮し、加温栽培を行う施設、作型を決定する。

・加温開始前の保温期間が長いほど、燃料節減につながる。

・保温の開始は、十分な低温期間に遭遇した後に行う。低温期間が不十分な場合は、発芽不良や発芽の遅れにつながる。保温開始の目安は、ピオーネが 12 月下旬以降、シャインマスカットが１月上旬以降であるが、秋冬季の気温によって変動するので注意する。

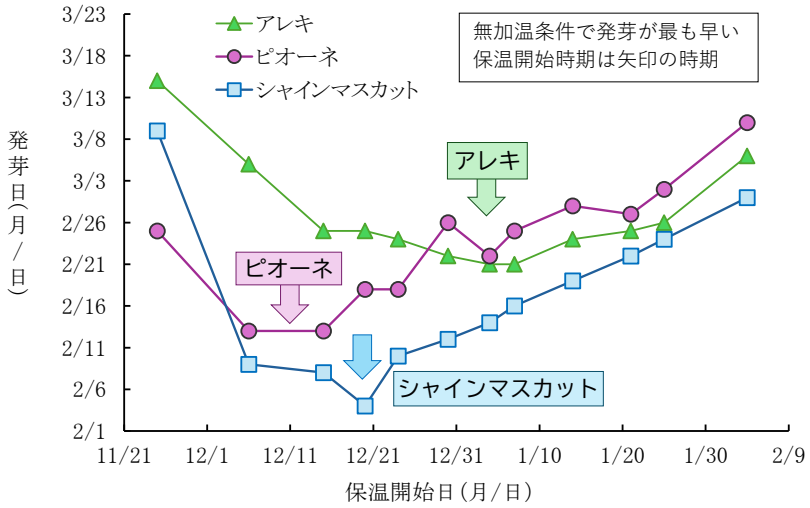


図　シャインマスカット、ピオーネ及びアレキの無加温施設での保温開始日と発芽日の関係（岡山農研、2011）

「ピオーネ」普通加温栽培（早期被覆・変温加温）の温度管理の目安

生育期	昼温（℃）	夜温（℃）	備　考
被　覆	35 以下	保温	被覆後、かん水を十分に行う ブリージングまでは高湿度を維持する
加温始	25～30	16～18	発芽の兆候が見られる時期に加温を開始する
発芽期 展葉期	25～28 25～28	20 18	発芽後はカーテンの開閉、換気に努める
展　葉 4～5枚期	25～28	変温管理 (18～24 時) 18 (24～６時) 15℃	発芽２週間後から開花直前まで夜温を一時的に下げる
開花始 ＧＡ1回	25～30 25～28	20 18～20	
果　粒 肥大期 果　粒 軟化期	25～28 35 以下	変温管理 (18～22 時) 18 (22～６時) 15℃	満開２週間後から加温終了まで夜温を下げる
成熟期	30 以下	15～18	収穫後の高温や葉焼けを防ぐ

（岡山県果樹栽培指針）

「シャインマスカット」普通加温栽培（１月上旬～２月中旬加温）の温度管理の目安

生育期	昼温（℃）	夜温（℃）	備　考
被　覆	35 以下	保温	被覆後、かん水を十分に行う
加温始	30～35	16～18	ブリージングまでは高湿度を維持する
発芽期 展葉期	28 以下	16～18	発芽後はカーテンの開閉、換気に努める
新　梢 伸長期	25～26	16～18	高温ほど生育期間は短縮されるが、モザイク萎縮葉症や結実不良の原因となる
開花始 果　粒 肥大期	25～26 25～26	16～20 開花期から夜温を高めてもよい 15～18	換気に努める 満開２週間後以降は夜温を 15℃に下げてもよい
果　粒 軟化期	28 以下	15～18	高温に注意する
成熟期	30 以下	15～18	収穫後の高温や葉焼けを防ぐ

岡山県果樹栽培指針）